

子どもの本だな 44

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

### おさらをあらわなかったおじさん

フィリス・クラジラフスキー 文  
バーバラ・クーニー 絵  
光吉 夏弥 訳 (岩波書店)

町はずれの小さな家に、一人きりで住んでいるおじさんがいました。ある晩、おなかをすかせ、たくさんごはんを作ったおじさんは、食事がすむと、くたびれ、お皿は流しにほうっておきました。ところが、翌日から毎晩、おなかはさらにすくようになり、疲れも倍になるようになりました。汚れたお皿は、いつも洗わずじまい。次第に、テーブルの上、本棚、床へと積み上げられていきました。きれいなお皿がなくなると、おじさんは、石鹸入れ、灰皿、植木鉢でごはんを食べました。家じゅうが汚れたお皿であふれ、おじさんが途方にくれていると、雨が降り始めました。

赤、緑、黒で描かれた絵は温かみがあり、汚れたお皿がどんどん増えていく様子や、お皿代わりになる入れ物の意外さをユーモラスに伝えます。

読んでもらえば4歳から楽しめます。(竹内)

### 朝びらき丸 東の海へ

C. S.ルイス 作 瀬田 貞二 訳 (岩波書店)

エドマンドとルーシィ兄妹はいとこのユースチスの家で夏休みを過ごすことになりました。2人が船の絵を見ながらナルニア国のことを話していると、ユースチスはごっこ遊びだとからかいます。そのとき絵が突然本物に変わり、3人は絵の中の海に落ちてしまいました。溺れそうになった3人を助けてくれたのは帆船朝びらき丸。ナルニアの王カスピアンが乗り込み、世界の果てへ冒険に出たばかりでした。ユースチスは船の仲間となじめず文句ばかり。そしてある島に立ち寄った時1人で出かけて山のような宝物がある竜の洞窟に入り込み、美しい腕輪をはめたまま眠ってしまいました。目が覚めるとユースチスは竜に姿を変えていました。

世界の果てへの旅はユースチスだけでなく他の人にも試練となりますが、もの言うねずみリーピープの勇敢さや優しさに触れ、偉大なアスランに助けられながら美しい世界の果てに辿り着きます。ナルニア国ものがたりの3巻目。(西村)

6月	7月	6・7月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
8日	6日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
15日	13日		岩見構上 公会堂 11:00~11:20	原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
22日	20日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:30

### お知らせ

毎週土曜日に

「おはなしの時間」

を開いています。

- ・4歳~2年生 11:00~
- ・3年生~中3 11:30~

6月のおはなしは、「ソウの鼻が長いわけ」「ホシおばさん」「つぶの長者」などを予定しています。

### 絵本の交換会

6月10日(土) 10時30分~16時  
場所: 図書館読書会室

『子どもは40000回質問する あなたの人生を創る「好奇心」の驚くべき力』

イアン・レズリー 著 須川 綾子 訳 光文社 326頁 2016年4月刊 1,800円 (請求記号) 141.5

「好奇心旺盛な」というと、知識を探求するプラ  
スのイメージと、噂や詮索好きというマイナスのイ  
メージの両方が想起されるが、本書では、人がより  
豊かで活気に満ちた人生を送るためにかかせない  
「好奇心」について、多方面から深く考察する。

子ども時代、好奇心の始まりは「知りたい」とい  
う心のうずきとして現れる。書名にもあるとおり、  
子どもは2歳から5歳までの間に、4万回もの「説  
明を求める質問」をする計算になるといふ。この目  
新しいものすべてに惹きつけられる好奇心を「拡散  
的好奇心」とよび、これが成熟して「知的好奇心」  
となる。知識を蓄え、学ぶ喜びを感じ、人類の文化  
や最新科学を推し進めていく原動力になるのはこ  
の知的好奇心である。また、知的好奇心を持ち続け  
ると、加齢による認知機能の低下が遅いという調査  
結果もある。

十六世紀、印刷機の発明により、民衆の間に知識  
が広まり、人々の知的好奇心を刺激し、新しい発想  
が生まれ、世界が大きく変化した。小説や戯曲が読  
まれることによって、他人の思考や感情を理解する  
「共感的好奇心」が芽生えた。

好奇心は放っておくとしぼんでしまう。意識して  
育てるものだ。それには自分が「知らない」という  
ことを自覚することだと著者は言う。知らなかつた  
ことに目覚め、それを知ることによって没頭する姿勢が必  
要だ。まず、周囲を観察し、興味をもつこと。興味  
の幅を広げること。広く知識を蓄えた上で、深く掘  
り下げる専門分野をもつこと。

スランプに陥ったプロデューサーや、鬱状態を切  
り抜けた作家の体験談を例に挙げ、「好奇心とは生  
きる力」であると結ぶ著者の言葉が印象的だ。

(池田)

6月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	<del>6</del>	7	8	9	10
11	12	<del>13</del>	14	15	16	17
18	19	<del>20</del>	21	22	23	24
25	26	<del>27</del>	28	29	30	

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	<del>4</del>	5	6	7	8
9	10	<del>11</del>	12	13	14	15
16	17	<del>18</del>	<del>19</del>	20	21	22
23	24	<del>25</del>	26	27	28	29
30	31					

\*カレンダーの×印  
は休館日。

\*  は館内整理日。  
返却のみ  
受けつけます。  
(10:00~17:00)

\*開館時間は  
10時~18時。  
金曜日は  
20時まで開館。

地下水

「あつ、絵本読んでくれた人や。」  
春と秋の年二回、黄色い帽子に黄  
色いたすきの役場の職員たちが、  
交代で交差点に立ち交通安全をア  
ピールすることになっている。

4月の朝、小学生の登校時間。  
石海の旧農協前の交差点にいる  
と、JRの陸橋のてっぺんに豆粒  
みたいな子どもたちの姿が現れ  
た。歩道橋をくだりきると、にぎ  
やかにこちらに近づいてくる。来  
た、来た、と、横断歩道の中央に出  
て行って、停車してくれた車に目  
礼し子どもたちに「おはよう」と  
声をかける。恥ずかしそうにぼそ  
ぼそと挨拶を返してくれる子ども  
がほとんどのなか、真新しいラン  
ドセルで跳ねるように歩いてい  
た女の子がびっくりして大声で言っ  
た。3月まで、おはなしと絵本を  
聞いてくれた保育園のライオン組  
の女の子だった。まん前に座って、  
感想を話してくれた。

小学校では2年生と5年生を訪  
問し、それぞれストーリーテリン  
グとブックトークをしている。2  
年生になったらまたおはなしに行  
くからねと思いがながら見送った。

(片木)

